



YAMAHA

SILENT *Violin*™

SV130/SV130S



取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

Manual del propietario

Руководство пользователя

使用手册

사용설명서

日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Русский

中文

한글

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。 いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

- ⚠ 記号：危険、警告または注意を示します。
- 🚫 記号：禁止行為を示します。 記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号：行為を強制したり指示したりすることを示します。 記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。



弦の交換や調整の際、楽器に顔を近づけすぎない。

弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気をつけてください。また、顔などを楽器に近づけすぎると、不意に弦が切れて目を傷付けるなど、思わぬのがの原因となることがあります。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常においや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口に点検をご依頼ください。



電源アダプターは必ず交流100Vに接続する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、指定のもの(PA-3C)を使用する。

(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発火などの原因になります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。手入れをするときは、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。



電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きしてください。

感電やショートのおそれがあります。



この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

タコ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

電池は+/-の極性通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。

電池は一度に全部を交換する。電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なるもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。

使用後の電池は火中に捨てない。
発熱、破裂、発火の原因になります。
使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。

直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
電気回路の影響により、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

不安定な場所に立てない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

演奏時には、弓が隣の人や物などに当たらないうよう、十分なスペースをとってください。
また演奏時以外に弓を振り回す、投げるなどの危険行為は絶対にしないでください。
弓は、人や物に接触すると危険な形状をしています。

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損する原因になります。

大きな音量で長時間ヘッドフォン(イヤホン)を使用しない。
聴覚障害の原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

ごあいさつ

このたびはヤマハサイレントバイオリン™をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントバイオリン™の機能を充分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

目 次

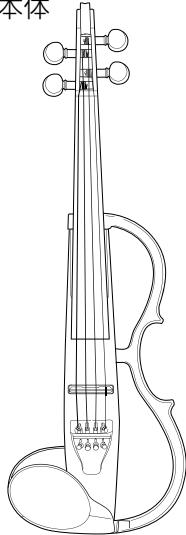
安全上のご注意	2
本体/付属品	5
本体各部の名称	6
演奏準備	8
■ 調弦について	8
■ 肩当てについて	9
■ 弓について(SV130Sの付属品)	9
■ 弦の交換について	10
電源の準備	12
■ 乾電池を使うときは	12
■ 家庭用コンセントから電源を取るときは	12
外部機器との接続	13
使用方法 (コントロール部)	15
リバーブについて	15
本体仕様	16

本体 / 付属品

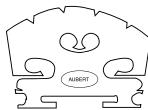
パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

SV130

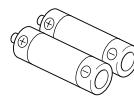
- 本体



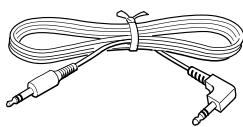
- 駒



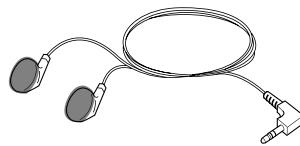
- 単3 マンガン乾電池×2本
(ご購入時のお試し用です。)



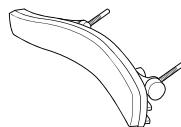
- オーディオケーブル



- ステレオインナーフォン



- 肩当て:KUN社製
ヤマハスペシャル



SV130S

SV130に加えて、以下のものが付属しています。

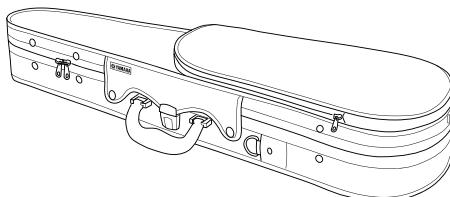
- 弓:4/4サイズ



- 松脂:PIRASTRO社製
Schwarz 9005

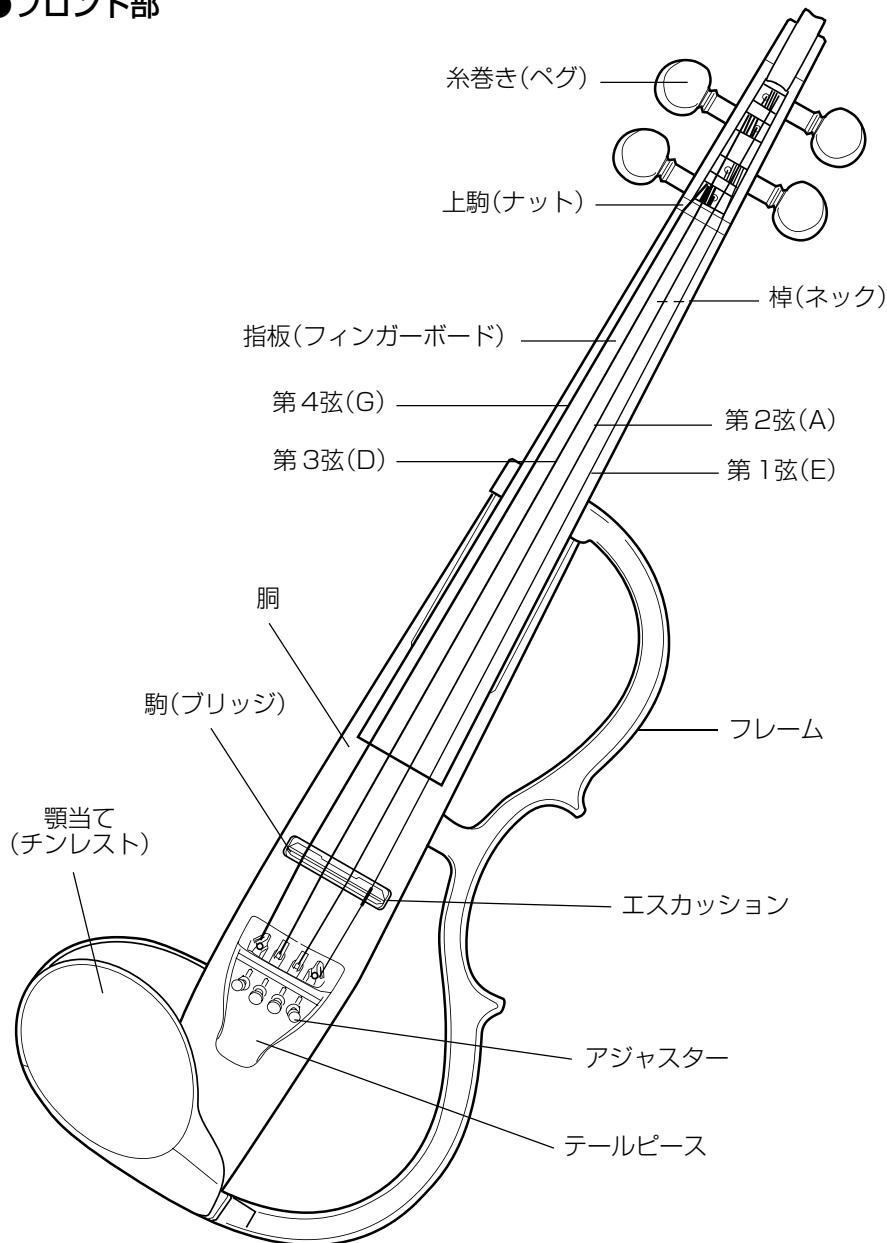


- ハードケース

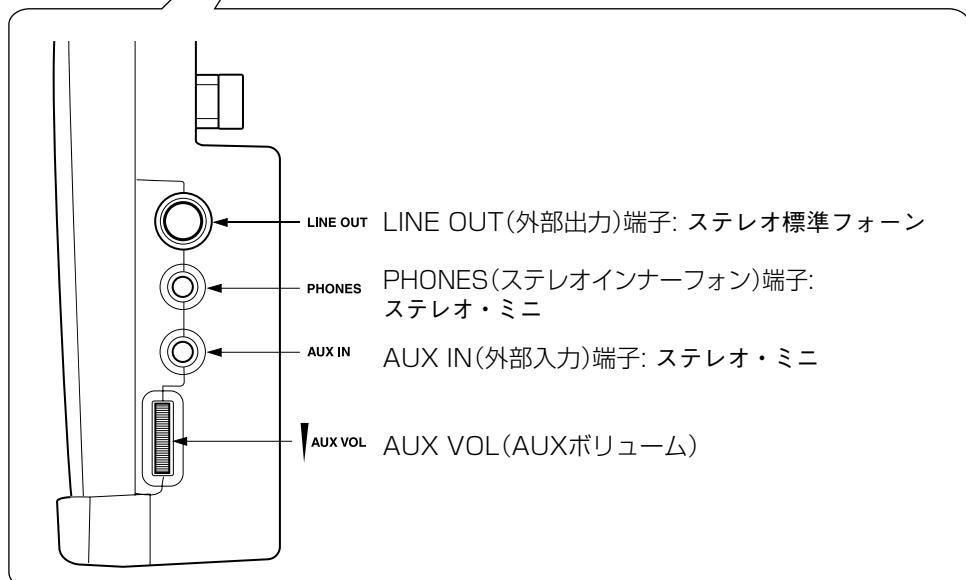
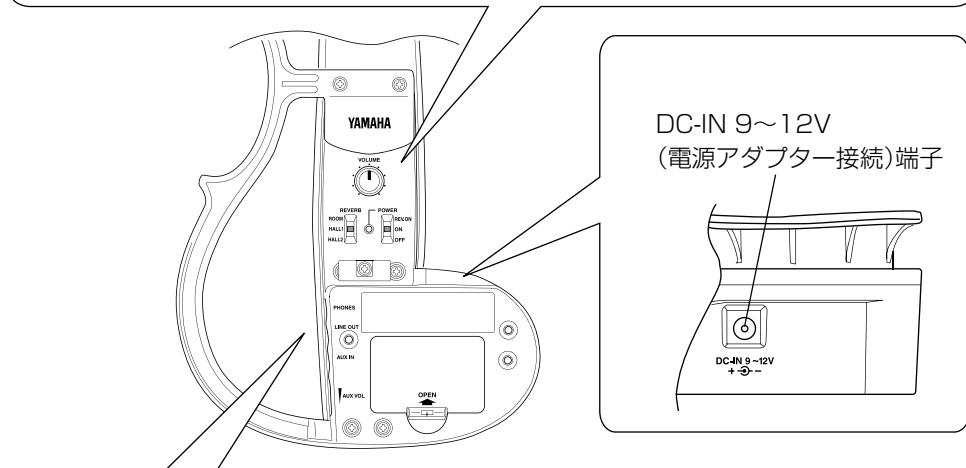
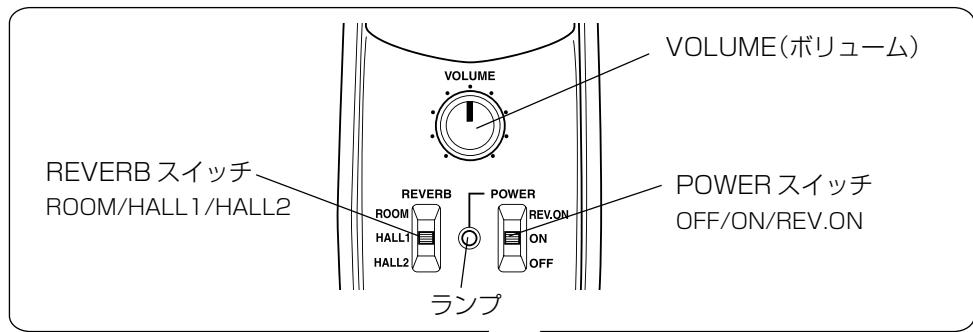


本体各部の名称

●フロント部



●コントロール部



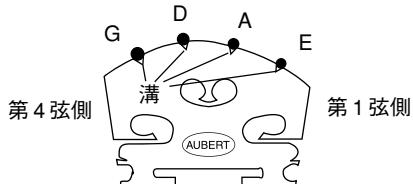
DC-IN 9~12V
(電源アダプター接続)端子

演奏準備

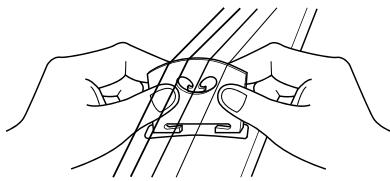
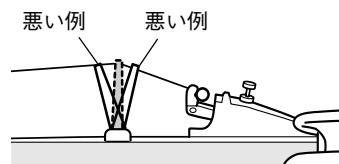
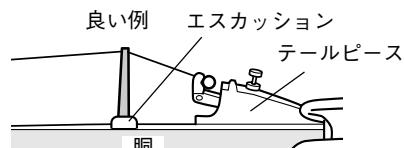
■ 調弦について

出荷時、駒はサイレントバイオリン™本体から外してあります。まず駒を本体に正しく取り付けてから、調弦してください。

- 駒は上部の山が低い方が第1弦(E)側、高い方が第4弦(G)側です。向きに注意してエスカッションの中に正しく取り付けてください。(AUBERT)と印刷されている面がテールピース側になります。
- 駒は胴に対して直角に立ててください。傾いている場合は両手でそっと起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。



【テールピース側から見た図】



【駒は垂直に立てる】

- 調弦後、駒が胴に対して直角になっていることを確認してください。傾いている場合は弦を少しゆるめてから、駒を両手でそっと起こしてください。
- 最後にジャスターを回して微調整します。

注意!

ジャスターのネジ部が
ゆるみすぎると、演奏時
の雑音の原因になります。



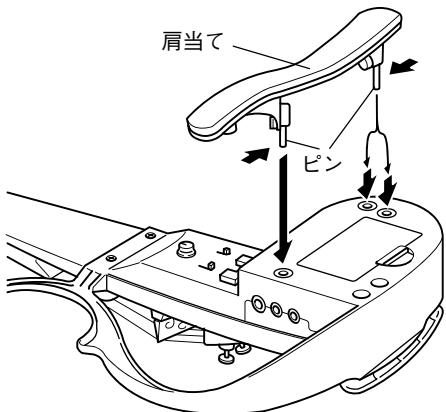
ゆるめすぎないこと

■ 肩当てについて

肩当てを使用すると、バイオリンを身体にしっかりと固定することができます。

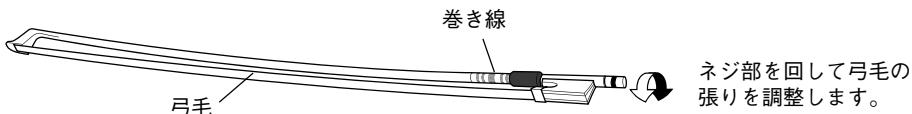
イラストを参考にして、リア部の取り付け穴のいずれか演奏しやすい側に、肩当てのピンをしっかりと差し込んでください。

- * 肩当てのピンは外側に少し開いています。取り付けの際は、一方のピンを半分くらい差し込んでから、もう一方のピンが取り付け穴に入るよう肩当てに力を加えて入れてください。
- * 肩当てを使用しなくとも身体に固定できる方は、肩当てを取り付ける必要はありません。



■ 弓について (SV130S の付属品)

- (巻き線の上に透明フィルムが巻かれている場合) このフィルムは巻き線の変色予防の為のものです。剥がさずにお使いください。
- 弓は、松脂を弓毛に塗って使用します。最初に使うときは、弓全体に平均にていねいに塗ってください。二度目以降は松脂はひかえめに塗ってください。
- 演奏するときは、図のネジを回して弓毛を張ってください。弓が曲がりを残しつつ緊張し、張った毛の束が均一な帯状に見える時が最良です。弓と弓毛が平行になっている場合は張り過ぎで、破損や故障の原因となります。
- 使用後は、必ず弓毛の張りをゆるめてください。また、弓全体に松脂の粉が付いている場合は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 楽器をケースにかたづける際、弓の毛は十分にゆるめて保管してください。
- 付属の弓以外をケースに収納する場合、弓の長さに注意してください。



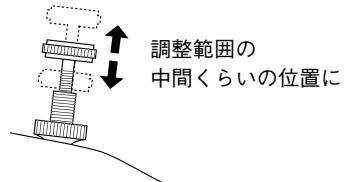
■ 弦の交換について

弦は古くなると、音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。
弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

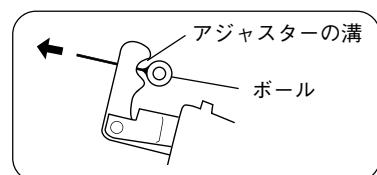
- 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

弦の巻き方

1. 弦を取り付ける前に、アジャスターを調整範囲の中間くらいの位置まで回しておきます。(全弦とも)

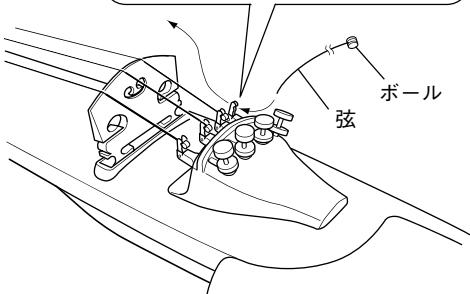


2. 弦の端のボールをアジャスターに引っ掛けます。この時、アジャスターの溝にボールを確実に収めるようにしてください。



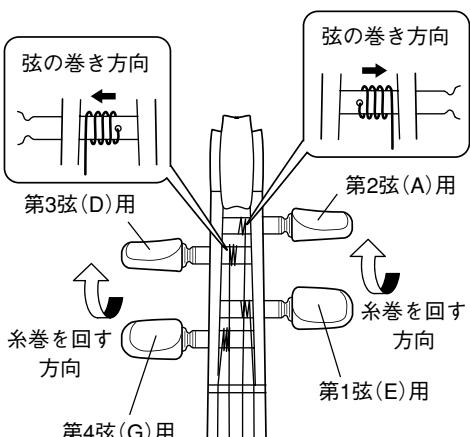
3. 弦を糸巻きの穴に通し、第1弦(E)、第2弦(A)は糸巻きの右側の側面に向かって、第3弦(D)、第4弦(G)は糸巻きの左側の側面に向かって巻きます。

この時、駒が弦に引きずられて指板の方向に倒れないように注意してください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まるようにセットしてください。(駒は常に本体に対して垂直に立てます。)



第1弦(E)には保護チューブが付いています。このチューブを必ず駒の上にのせてください。

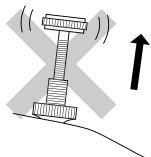
4. ピアノや音叉、チュナーなどの音に合わせて、糸巻きを回してチューニングします。



5. 最後にアジャスターを回して微調整します。

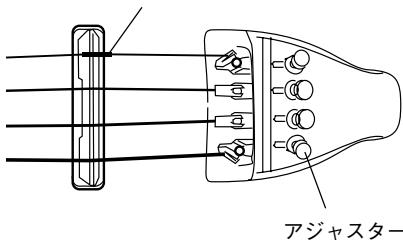
注意!

アジャスターのネジ部がゆるみすぎると、演奏時の雑音の原因になります。



ゆるめすぎないこと

第1弦 (E) 保護チューブ



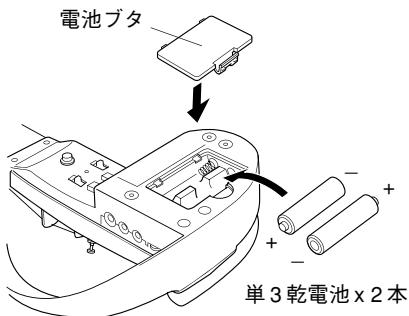
- 楽器を長期間使用しない場合は、弦を少しゆるめて保管してください。

電源の準備

サイレントバイオリン™は、電源として乾電池と家庭用コンセントの両方を使うことができます。電源の準備をする前に、本体リア部のPOWERスイッチ(OFF/ON/REV.ON)をOFFにしてください。

■ 乾電池を使うときは

1. サイレントバイオリン™を裏返し、電池ブタをはずします。
2. 付属の乾電池(単3乾電池)を2本入れます。イラストを参考に、向きを間違えないように入れてください。
3. 電池ブタを閉めます。



POWERスイッチを「ON」にするとランプが緑色に、「REV.ON」にするとランプが赤色に点灯します。電池が少なくなるとランプが橙色になり、音が歪んだり、リバーブがかからなくなったり、ノイズが発生したりします。このような時は以下のことに注意して乾電池を交換してください。



- 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発火する原因になります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。
- 付属の乾電池はご購入時のお試し用です。

■ 家庭用コンセントから電源を取るときは

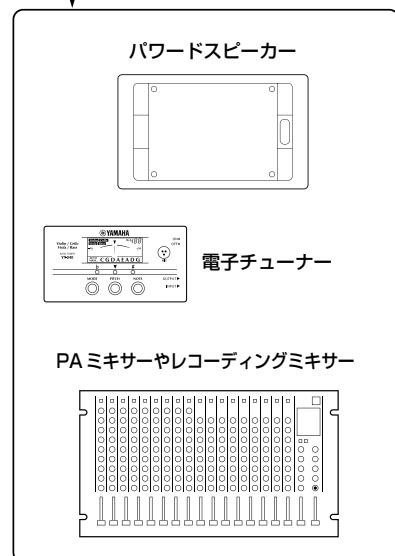
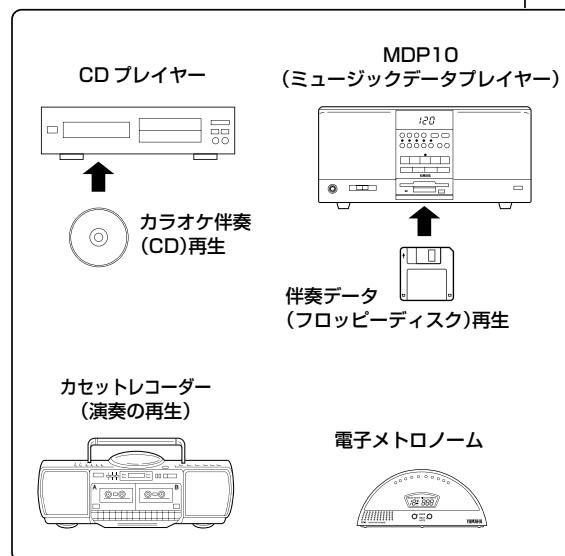
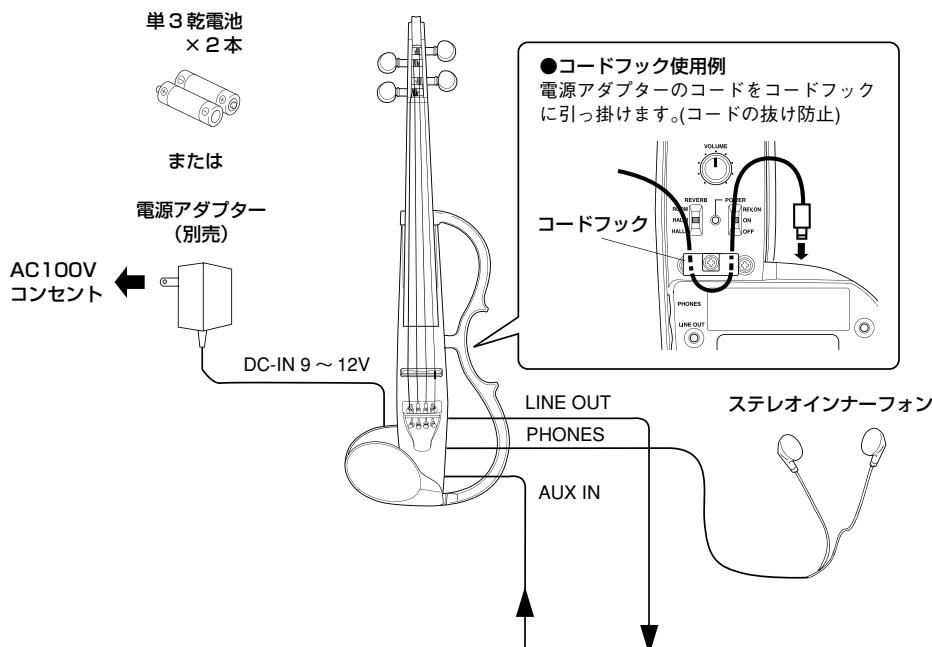
別売のヤマハ電源アダプターPA-3Cをお買い求めください。

1. 電源アダプターのDCプラグをサイレントバイオリン™のサイド部のDC IN 9~12V端子に、確実に差し込んでください。
2. 電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

- 乾電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。
- 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障・発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

外部機器との接続

サイレントバイオリン™



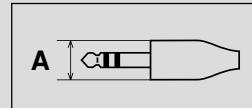
■ 入力端子 (AUX IN端子)

- サイド部のAUX IN端子は、外部機器からのステレオ音声信号を入力する端子です。付属のオーディオケーブルで、CDプレーヤーやテープレコーダーなどのオーディオ機器の出力端子と接続すれば、外部機器の演奏をバックに練習することができます。また、楽器練習に便利な多彩な機能を装備した、ヤマハミュージックデータプレイヤーMDP10を接続することもできます。
- AUX IN端子から入力される音声信号のボリュームは、AUX VOLコントロールで調整します。

■ 出力端子 (LINE OUT端子)

- サイド部のLINE OUT端子は、サイレントバイオリン™のステレオ音声信号を出力する端子です。外部スピーカー、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子と接続すれば、サイレントバイオリン™の演奏音を外部機器で鳴らしたり、録音することができます。電子チューナーのINPUT端子と接続すれば、電子楽器のように出力信号を使ってチューニングすることができます。

- サイレントバイオリン™を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で接続してください。また、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。大音量で聴覚障害を起こしたり、機器を損傷するおそれがあります。
- 電源が入った状態で接続コードが抜けると、機器が損傷するおそれがあります。耳に伝わる衝撃も大きいので注意してください。
- コードを踏まないように注意してください。コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。
- サイレントバイオリン™の出力端子から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントバイオリン™の入力端子に、絶対に戻さないでください。発振を起こし、内部機器の損傷の原因になります。
- 市販のミニプラグ付オーディオケーブルの中にはプラグ根元の絶縁部の径(右図A部)が大きいものがあり、本機に接続した際に接触不良を起こすことがあります。本機付属品と同程度のオーディオケーブルをお使いください。



音楽を楽しむエチケット

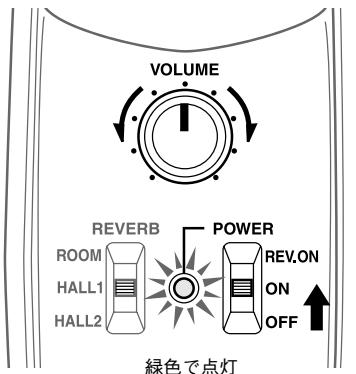
楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わずで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつ的方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

使用方法(コントロール部)

1. リア部のPOWERスイッチを「ON」の位置まで動かして、電源を入れます。ランプが緑色に点灯します。
2. サイド部のPHONES端子に、付属のステレオインナーフォンを接続し、R(右耳)/L(左耳)を間違えないように、両耳に差し込みます。
3. 演奏してVOLUMEを回して、適度な音量になるように調整します。

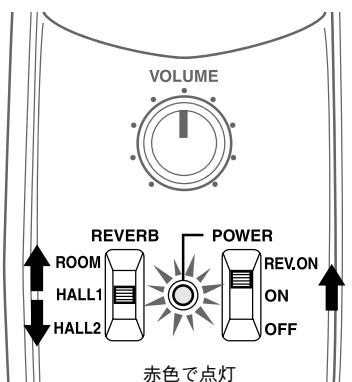


- 大きな音量で長時間イヤホン(ヘッドフォン)を使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

リバーブについて

サイレントバイオリン™は、DSPリバーブを搭載しています。3種類のリバーブ効果(残響効果)をかけて演奏してみましょう。

1. リア部のPOWERスイッチを「REV.ON」の位置まで動かすと、ランプが赤色に点灯し、演奏にリバーブがかかります。
2. リア部のREVERBスイッチを動かして、3種類のリバーブモードを切り替えます。



- ROOM(ルーム)モード 室内で演奏しているような残響が付加されます。
- HALL1(ホール1)モード ホールで演奏しているような残響が付加されます。
- HALL 2(ホール2)モード ホール1よりさらに長い残響が付加されます。

本体仕様

棹	メープル
胴	スプルース
指板	黒檀
糸巻き	黒檀 + 樹脂のハイブリッド
駒	メープル (Aubert 社製)
フレーム・顎当て・テールピース	樹脂成型品
アジャスター	4ピース (Wittner 社製)
弦	ボールエンドタイプ
センサー	駒下配置方式ピエゾピックアップ
電気	<ul style="list-style-type: none">● ヘッドフォン出力● AUX IN (ボリューム調整付)● LINE OUT● ボリューム● リバーブスイッチ (ROOM/HALL 1/HALL 2)● POWERスイッチ(OFF/ON/REV.ON)
電源	<ul style="list-style-type: none">● 単3乾電池×2本 / 電源アダプター対応
電池寿命(連続使用時間)	<p>マンガン乾電池</p> <ul style="list-style-type: none">● リバーブ音なし(POWERスイッチ「ON」) 20時間● リバーブ音有り(POWERスイッチ「REV.ON」) 4時間
	<p>アルカリ乾電池</p> <ul style="list-style-type: none">● リバーブ音なし(POWERスイッチ「ON」) 60時間● リバーブ音有り(POWERスイッチ「REV.ON」) 12時間
弦長	328mm
寸法	587(L) × 195(W) × 110(H)mm
重量	650g(乾電池含む)

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

WN46910 1202 R2 Printed in Japan